

とくしま魅カスポット

徳島県内のキラッと光る商品や技術、場所、人にスポットを当て、
 創造の現場から発信される声や笑顔、そして、こだわりの品々をレポートします。



吉野川高校北側の江川河川敷「いやしの公園」

いやしの公園

吉野川高校北側の江川河川敷では、6月に「ユリの花まつり」が開催され、多くの人で賑わった。かつて雑草地であったこの地は、11年ほど前から整備を行っている地元のボランティアグループ「江川奉仕橋かもクラブ」の方々により、生まれ変わった。今回は、この「いやしの公園」について、会員の方々にお話を伺った。

◆この場所をこのような公園にしようと思ったきっかけは？

50年以上前のこの場所では、橋の上から飛び込んで泳げるくらいの水位のある川が流れていました。それが、30年ほど前からでしようか、周りの環境の変化とともに水も減り、草の生い茂る場所と化しました。虫も増えようにかしなければと地元住民を中心に話し合い、11年前に草刈を始めのがきっかけです。

◆どれ位の人で、ここまですごい綺麗に整備をされたのですか？

主に、ボランティアグループ江川奉仕橋かもクラブの会員で行い、今も続けています。始めは10人程でしたが、現在は20人程の会員がいます。月4、5回清掃やお花のお手入れを行ってくださる人もいますが、自分が出来る時に出来ることを協力して行っています。

◆重労働だと思いましたが活動を始めて11年経つてどうですか？

夏場は草がすぐに生えるので、暑いしとても苦勞しますが、体を動かして皆で行えることがありがたいし、とても楽しんでやっています。

年々、綺麗になっていくのを実感しているし、訪れた方にも「綺麗ね」「落ち着く場所だわ」と言っていたり、度々、やってきてよかったなと思つていきます。



沢山の花が咲き乱れています。7月中旬まで楽しみそう



草刈りやお花の植え替え、清掃などこまめに行っています。ゴミなどは捨てないようにお願いします。



◆この場所ではどのようなことが楽しめるのですか？

スイセンやチューリップ、桜、花苜蓿やユリなどの花々、そしてブラックバスや鯉やフナなどの魚や、冬には鴨が越冬をしにやってきたりと、季節折々の景色が堪能できます。川も綺麗な水へと蘇ってきているので、これからの季節、川遊びや河川敷でのお散歩など



江川奉仕橋かもクラブの皆さん

も楽しめるのではないかと思います。昔、沢山のトンボやホタルの舞っていた頃のような美しい場所を目指し、これからも頑張っていきたいです。

ボランティアグループ 江川奉仕橋かもクラブ

*一緒に活動をして下さる方は、
 鴨島公民館岡田館長まで
 お問い合わせください